

○ 東京都下水道局は、太平洋セメント(株)・メタウォーター(株)と共同提案した、水再生センターの汚泥処理工程で発生する脱水分離液からりんを回収した「下水再生りん」を肥料原料として資源化するための実証事業を実施。この「下水再生りん」を肥料原料としてJ A全農等と連携し、広域的な肥料利用に向けて取り組む。

■国内資源の種類

脱水分離液
(下水の汚泥処理工程で発生する脱水分離液)

■肥料の種類・肥料名称

種類：副産肥料
(複合肥料の原料として利用を計画)

■保証成分・特徴等

主成分：りん酸カルシウム
く溶性りん12%(目標値) 等

■取組の経緯・内容・成果(見込み)

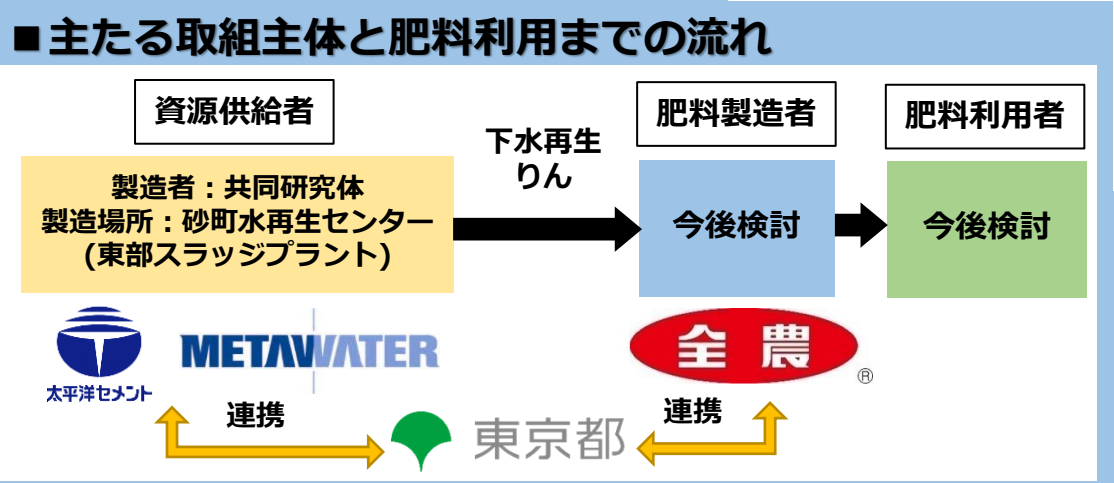
取組の経緯

- ・「東京都下水道事業経営計画2021」において、処理水質の向上を図るため、りんを除去する施設の導入を予定し、副次的に得られたりんは農業用肥料など資源への有効利用を検討
- ・2023年2月に国土交通省の「下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)」において、東京都下水道局は、太平洋セメント(株)、メタウォーター(株)と共同提案した「新たなリン回収システムによる下水道の資源化に関する実証事業」が採択
- ・2023年12月に、下水汚泥から回収した再生りん(「下水再生りん」)の広域での肥料利用に取り組むため、東京都(下水道局・産業労働局※)と全国農業協同組合連合会で連携協定を締結

※東京都農林水産業等の振興を担当する部署

取組の内容

- ・2024年1月にりん回収・肥料化施設が稼働し、「下水再生りん」の生産を開始
- ・本施設で生産した「下水再生りん」を肥料原料とした複合肥料の試験製造及び試験栽培を実施
- ・「下水道展'24東京」において、来場者向けに下水再生りん含有の複合肥料を配布




りん回収・肥料化施設


りん回収物
(下水再生りん)


取組の詳細はこちら

■今後の課題・取組

東京都とJ A全農は、以下のことについて連携し取り組む

- ・「下水再生りん」の製造に関する技術開発
- ・肥料の試験栽培結果を農業者などへ提供
- ・肥料の市場、流通調査
- ・関係者の理解醸成及び利用促進